

現代アート作家・そのだ正治さんが築
90年の空き家を丸々アートで再生し
た「ナマスタハウス」(記事はP18)。

鯉田エリア
まとめMAP
Googleマップが開きます。



鯉田って
どんなところ？

TOWN INFORMATION

室町時代から記録に残る通賀川沿いの一帯。戦国期には鯉田城が築かれ、近代は麻生鯉田炭鉱で繁栄した。現在はJR福北ゆたか線が通る交通アクセスの良い住宅地となっている他、68年の歴史がある飯塚オートレース場や、2年前に新しくなった飯塚市総合体育館などもある。

お店やスポットの数は多くないものの、ひとつずつの個性や魅力が拮据い！な鯉田エリア。ほとめき市場および回転寿司「太郎」の凄まじさは県内全域に轟いているかと思いますが、飯塚バイパス沿いにある「くまがいの釣具」は鯉田にしかなかったり、全国に5つしかないオートレース場のひとつ「飯塚オート」は68年にわたり市民をはじめ筑豊地域の方々に親しまれている公営競技場です。今回特に、地域の風物詩としての飯塚オートを12ページにわたり特集しました。

特集 飯塚市 鯉田

「魚を見ながらゆっくり過ごしていただきたい」との思いが詰まった日本酒園も自社で管理。なんと夏仕掛け・冬仕掛けで花の種類を変えているのだとか。



フココ取りから手作業で作られる「タイあら炊き(320円)」は数量限定商品なのでお早めに!



居酒屋に匹敵するほどのサイドメニューも人気の一因。もちろん焼き鳥も手仕込みだ。



回転寿司 一太郎

100種類を超えるネタをその場でスリード配膳してくれるからズバリで新鮮なネタが楽しめる! 写真中央、店長イチオシの豪華海鮮丼は特製汁と薬味盛りがセットについてくる。(1,980円)



Information

- ◎ 飯塚市大字笠田 1526-179 (ほとめき市場横)
- ☎ 0948-21-0148
- ◎ 【平日】11時~15時 (o.s.14時半) 17時~21時半 (o.s.21時)
- 【土日祝】11時~22時 (o.s.21時半)
- ◎ 毎週月曜日/月2回程度連休あり

Text: Kawano Ayaka

振りのネタが特徴。仕込みに入らせてもらおうと、「店長、そんなに分厚く切って大丈夫ですか?」と思わず声が出てしまうほど贅沢に切り分けられていた。

さらに寿司のネタだけではなく、味噌汁は毎朝出汁から取っているし、居酒屋顔負けの焼き鳥や豊富なサイドメニューまで、これだけのキヤパシティがありながら全て手作業で行っている。「やつぱり、手作業にはこだわってますね。こだわらないと美味しくならないですから」。

コンセプトは「お客さんに非日常感を味わってもらいたいこと」。広々とした店内には隔々までその心意が感じられた。

「二太郎は総田の誇りだと言っていたけど、もうこれからは頑張ります」と、店長の笑顔が弾けた。



「土日の待ち時間は3時間」。海のない筑豊にある「回転寿司 一太郎」には今日も県内外からお客さんが押し寄せている。

元々、ほとめき市場敷地内にあった回転寿司を現在の場所に移転し、キヤパシティを大幅に増やしてオープンさせたことが始まり。「仕込みは毎朝6時から始まります。仕込みは毎朝教えてくれたのは、店長の今泉さん。自社経路で市場から届けられた魚をその日のうちに捌いているのが目を見張る新鮮さの理由だ。さらに、市場と合わせた大量一括仕入れだからこそ、安く提供できるのだとか」。

この日、開店前から取材を行っていたが、一番最初に並ばれたお客さんが訪れたのは開店1時間前。「3時間待ち」という評判は筑豊内外に広まり、このようなスタートダッシュを切るお客さんも増えてきたのだとか。

入り口に入ると出迎えられるのはまるで高級ホテルのようなエントランス。広々とした店内は老若男女問わずくつろげる空間となっている。席まで専用のレーンで届けられる寿司は大

もはや回転寿司屋の枠を超えた『非日常感』。



「全部新鮮、価格の割に食感も可なり。店内で調理されているので新鮮な味を味わえる」と大満足。



大盛りな身の焼き鳥はなんと1本80円〜。開店直後から売り場には客足が絶えない。



「また来たいと欲求がわいてくる。もんね」と丁寧な接客が、なにより石橋さん。

“ほとめき”の意味は“おもてなし”。

鯉田が誇る、食のテーマパーク「一太郎」。もとは庄内で魚の卸しをしていたが、30年前に現在の場所に移転したことが始まり。内陸の飯塚で新鮮な魚を売りにできる秘密は、「完全自社仕入れ」だから。毎朝3時に市場直送の魚が届き、店頭には並ぶのはその日に捌きたてのもの。それだけに留まらず、看板商品の焼き鳥・うなぎ・伊達巻などの人気商品の仕込みもなんと全て手作業。「規模は大きいけど、手作業でやるのが大事。自分たちで手間暇をかけるから美味しいし、安く提供できるんです!」快活な笑顔で語ってくれた常務の石橋さん。自らも店頭に立ち、うなぎを毎年焼き上げている。「安くて美味しい」にはおもてなしの心がギュッと詰まっていた。

text: Kawanishi Ayaka



目玉商品のうなぎ。施設内にはうなぎ専門店もオープンしている。

Information

△ 飯塚市鯉田 1646-43
☎ 0948-22-6611
🕒 10:00~18:30
📅 毎週月曜日、月2回程度の連休
📍 Ichitaro group



ほとめき市場 一太郎

新鮮な魚介、野菜、お惣菜までここに来れば全てが揃う。「道の駅型」の食のテーマパーク。店頭にはお伊達巻のインパクトは来店客にも大人気。価格で美味しい食を求め買内外から多くの人が訪れる。





熱い笑顔の正治さん。「愚直はまた絵を描いているんですよ。」

筑豊の街角に潜む楽しい違和感の仕掛け人。

筑豊の街角や広場で、ふと目にとまる鉄のオブジェ。ハート型の鐘、巨大な椅子、どこかユーモラスな動物たち—それらを手がけてきたのが、鯉田に拠点を置くアーティスト・其田正治さん。もともとは看板屋で修行しながら絵を描いていたが、20代の頃訪れたニューヨークで町なかに点在するアートやオブジェに衝撃を受け、独学で造形の道へ。「機能性はないけど、あることで街があたたかく、ワクワクするよね」と、以来30年以上鉄のアートを作り続けてきた。そんな正治さんが今年、鯉田の築90年の空き家をアートとして再生させた〈ナマズタハウス〉を公開。島全体に現代アートが並ぶ香川県・直島に感銘を受け始まったこのプロジェクト。「この街も」との思いで他にも様々な企画を考案中なのだそう。

text_Kana Ryoshi



奥様の寿枝さんは、ギャラリー併設の「うまいなり」で洋風いなりを提供。

Information

📍 鯉田市鯉田2299-5
☎ 0948-29-4877
🕒 10:00 ~ 16:00
📅 不定休 ※うまいなりは予約限定
※ナマズタハウスは日曜限定
📍 masajart



「ナマズタハウス」内部は、古代家がまるで美術館のような雰囲気。



オリジナルの鉄の表札・門牌・その他看板等、オブジェ以外にも幅広く制作。



寄稿文には「飯塚の電車」の文字が、人望の厚さが垣間見える。

Information

④ 飯塚市鯉田 2425 番地 145

☎ 0948-23-0090

▶ 久保井さんを中心に地元で遠征していた「浦田小唄」を復活させたプロジェクトも!

全容はyoutubeで「浦田活性化」で検索!

「24時間ソフトボール大会」と聞いてピンとくる方も多いのではないだろうか。始まりは13年前。かつては鯉田のそれぞれの地区に存在していた野球チームが解散し、残されたユニフォームを有効利用できないかと思い、田んぼでカカシに着させ始めた。「3・4年経たないくらいから話題になり始めてね、鯉田に人が集まるいい機会になっていったんよ」久保井さんの鯉田愛から発足したイベントはこれだけにとどまらない。並行で始めた「やり投げ大会」には東京からの参加者もあったという。「若い人は活力を持ってるからね、僕はそれを発揮できる場所を作ってあげたいんよ、スポットを当てたらみんな光るさね!」見返りなど求めない、鯉田を愛する心はこれからも広がりをみせていく。

鯉田名物イベントの発起人の愛は人々を引き付ける。



株式会社クボイ
久保井 伸治



Text_Kawano Ayaka



「やり投げ大会」で優勝したチームのメンバーと久保井さん。



くまがい釣具

ロッド、リール等の品揃えも豊富。

釣りボートの制作、修理等は主に店長の坂本さんが担当。

有名な「くまがいのルアー」の中には、古くから使われているものも。

バス釣り好きのスタッフ平野さん。

かわいいオリジナルTシャツ、鯉田市内のグループ店「アイニースポット」のものも。

バス釣り好きのスタッフさんたち。わからないことがあればなんでも聞けるのも嬉しい。



4年ほど前に外観をリニューアル。鮮やかなブルーとオレンジが目印。

Information

④ 飯塚市鯉田 461-9

☎ 0948-22-0833

⑤ 10:00~20:00
10:00~19:00 (日祝)

☎ 火曜日

📍 kumagai_tsurigu

Text_Rabie Kyohai



世代を超えて、釣り好き集まる秘密基地。

もとは金物屋として始まり、いまや創業109年になる「くまがい釣具」。全国にファンも多いバス釣りスポット、遠賀川の近くだからこそ、総合釣具店ながらルアーの取り扱量も質もバス釣り専門店さながら。店長の坂本さん曰く、「ルアーは実際に見てみないとわからないから様々な種類を取り揃えています」。色も形も千差万別なルアーの中から自分が選んだもので工夫し、釣り上げる、その達成感こそがバス釣りの醍醐味だという。釣り用ボートの修理・制作まで行う懐の深さに加え、初心者でも楽しめる大会やプロとの交流イベントなども開催。バスだけでなく、釣りの楽しさを誰にでも届け続けている。「難しそう」と思っている人にも一度足を運んでほしい釣具屋だ。

オートレースのきほん

1 入口で出走表をゲット



館内でレースがある日(本場開催)を事前にHP等でチェックした上でオートレース場へ。まずは正面入口に入ってすぐのところから出走表を手に入れて、1日の予定を確認しよう。

3 試走タイムをチェック



モニターに試走タイムが映し出され、予想スタート。時間は約10分ほどで、締切時刻などは都度アナウンスが流れる。

? ハンデレースとは?

選手の強さによって10m刻みで後ろからスタートするオートレース独自のルール。ハンデのm数は試走タイム機にも表示される。

予想屋を参考にしてみる

オートレースに通じた熟練の予想屋さんが、場内に推挙して、1レース100円で予想する番順を教えてくれる。初心者には特に頼りにしてみると良い。

2 選手入場・試走



通常は1日に12レース開催。各レースは選手入場から始まり、1周を全力で走る「試走」を行う。この試走が、予想を行う上での基準となる。

4 車券を買う



車券は2パターンの投票カードで7種類の買い方がある。予想の番順をマークシート形式で記入したら券売機にお金を入れて、車券を購入しよう。

試走から結果を予想しよう!

試走タイムにハンデのm数×0.01秒を加えた数値をもとに予想するのが基本。走り方も見ることで予想精度が高まる。

5 レース・払戻



車券購入後、レースがスタート! 8台のバイクが、1周500mのオーバルコースを6周して順位を競う。



日本トーター株式会社
飯塚オート事業所
村上さん

TOPIC
レースの見方と、
券の買い方を教わる。

車券は100円から購入できます

IIZUKA AUTORACE GUIDE ☆☆☆☆☆

入門編

オートレースは、飯塚が誇る「大人の遊び」だ!

全国にちろちろとないオートレース場の一つが飯塚・館田にある。希少な施設だが気遣いに暮らしていても「そういえば行ったことないかも」という人も多いのではないだろうか。そこで今回、編集部スタッフがレースの見方から設備、マシン、そして選手の素顔までを体験取材。今年6月に新しくなったばかりのメインスタンドも大注目!



8月後半は飯塚でほぼ毎日開催してます!

IIZUKA
AUTORACE

◎ 飯塚市館田147
◎ iizuka_autorace

飯塚オート
6代目 勝利の女神
KARENさん

飯塚オート

はじめの

オートレースは
公開競技!
20歳未満は観戦だけで
楽しむんだぞ!



「完全にゼロの状態から、基本を教えてください!」とやや無茶なお願ひにもかかわらず、朗らかに応えてくださったのが、飯塚オートを運営する「日本トーター」の村上さん。「飯塚オートレース場は68年の歴史があり、戦後の経済復興と、市民に娯楽を提供する目的ではじまったのが原点です」。オートレースは競馬・競輪・ボートレースと並び4大公開競技の中でも最速のスピード感(最高時速150km/h)が魅力で、他の競技にない特徴が「ハンデ」ルールなのだそうです。「強い選手は10m刻みで後ろからスタートします。最重ハンデについて(最後方)にいる」選手が先行する選手を後方からどう捌いていくかが、オートレースならではの見どころです」と村上さん。上述の「試走タイムの見方」を習って実際にレースを予想してみると、初購入にも関わらず編集部スタッフ3人中2人がかなり惜しい結果に。これは「楽しい!」「予想が惜しい!」と一気にハマりますよね(笑)。季節ごとの傾向、選手の特徴なども含めると何十時間でも語れてしまいます。基本の一步目を知るだけで、見方が何倍にも深まった。





収容人数668名、3階建てコース側は全面ガラス張り。一般席98席、ベア席27席を中心に、1席10名様席や収容できるワゴン席もある。



観戦中でも臨場の
眺望の良さ

TOPIC
★★★★★

オートレース、 外から見るか、内から見るか。

「ここかの空港？」と見違えるようなこの光景は、今年6月にリニューアルオープンしたばかりの「メインスタンド」2階有料席からの眺望。オーバル（楕円）型のコースが一望でき、初心者でもレース展開がわかりやすい。何より暑い時期でも快適で、席のタイプは1人掛けの一般席、ベア席、カウンスター席、グループ席と様々。価格も一般席は終日500円（本場開催時）と、眺めが良い環境でゆったり過ごせることを考えるとお値打ちだ。新しくなったスタンドでは1階に授乳室を備えていたりするので、グループ席（2000円）を購入して家族みんなで平日オートレースを楽しむなどの過ごし方も大いにアリ（取材時、実際にそのような過ごし方をしているファミリー層も見受けられた）。

一方で、無料かつ近所でレースの迫力、エンジンの轟音を感じ取ることができるのが屋外スタンド席。（日本トータレーの村上さんも「この轟音を感じてこそオートレース」と激推ししてくれた。初めて訪れる方は、有料席を買いつつ、レースごとに屋内と外をどちらも体験してみてもいい。

場内は、レース場のスケール感と比べると入り口メインスタンド、食堂などもコンパクトにまとまっているので、移動の手間は最小限。券売機やモニターがそこかしこにあり、1階の無料観覧席には高精細な大型ビジョンが設置されている。本場開催時はトークショーやヒーローショー、打ち上げ花火などレース以外のお楽しみ要素もある。



（左）2Fグループ席（有料/1日2,000円/全9室）。コースを見渡せる眺望がありつつ、間違ってプライベート感もある。1Fには授乳室が完備されている。



同じだけど、違う？
マシンを知る。

MACHINE NAME
ザザンス
OWNER
岩見 貴史

撮影にご協力いただいたのは、インタビュー（次ページ）でもお世話になった岩見選手。キャッチーさを重視して命名したそう。



次のページも見てみてね

選手の人柄が伝わる マシン名にも要注目

出走表などにも記載されている競走車のネーミングは選手が自由に命名している。いかにも速そうな名前から、キャッチーさを重視したものまでバラエティに富んでいる。

オートレース競走車ならではの！ 左右非対称のハンドル

レースでは常に左回りのため、バイクを傾けた際に両腕が水平になるよう、左側のハンドルが高くなっている。細い高さ・角度は、選手が各自で調整している。

コーナリングの要！ 特殊な三角タイヤ

バイクをほぼ常に左に傾斜させながら走行する上で路面との接地面を増やすために断面が尖った三角形のタイヤを使用している。

オートレースにおいて、選手と並ぶもうひとつの主役とも言える「競走車」。一見するとシンプルで、ただひたすらに速く、そして安全に周囲を重なるための驚くべき秘密が凝縮されている。

競走車の心臓部には、最高時速150kmにも達するパワーを生み出す500ccの600ccの専用エンジン（スズキが開発した「ヘア」）が搭載されている。その力を最大限に引き出すため、車体の構造は徹底的にレースに特化している。まず目に付くのが、左右非対称のハンドル。オーバルコースを常に左回りで走行するため、深く車体を傾けた際に両腕が水平になるよう、左ハンドルが意図的に高く設計されているのだ。変速ギアもローとトップのわずか2速のみ。スタートダッシュで一気にトップスピードに乗せるという、レース展開に特化した潔い仕様である。

コーナリングの要となるのが、断面が三角形という異形の「三角タイヤ」だ。これにより、深いバンク角でも最大限の接地面積を確保し、驚異的なコーナリングスピードを実現する。そしてこの競走車には、ブレーキがない。レースで選手同士が混戦した際に追突事故を防ぐため、減速はスロットルワークという繊細なアクセル操作のみ。コンマ1秒を争う選手たちの、極限の技術がここにある。

「競走車の仕様やエンジンは全て共通」なのに、強い選手は数十mのハンドルをもとせずつく着へ躍り出る。どうしてここまで速さに差がでるのか不思議だったが「整備」も全て選手自身で行うのがオートレースの世界なのだそう。選手たちが滞在し、整備を行うロッカールームに入らせてもらくと、真剣にマシンと向き合う姿が多々見受けられた。部品交換も自費であり、日々のコンディションを見極めて最適なセッティングを施す整備技術は、操縦技術と並ぶ選手の生命線ともいえる。まさしく人馬一体。マシン名は競走車と選手との絆の象徴でもあるのだ。



TOPIC
★★★★★

4

新人とベテラン。師匠と弟子。 レーサーに話を聞く。

難しさを感じながら
高め合う競技。

「元々バイクとかが好きで。かっこいいじゃないですかオートレース。マシンもレースも」竹尾選手は今年の1月に養成所を卒業し、デビューを果たした新人レーサーだ。

デビューして約半年。今はその難しさを痛感しているという。「実際にレースに出てみると想像の上の上の上のくらい難しいことだらけですね」とはにかみながら教えてくれた。タイヤや、グリップの高さ、細かな部品一つとっても幾通りもの組み合わせがあるため、常にベストな調整を行わなければならない。「あとはやっぱりレース中の駆け引きです。大胆かつ丁寧に、この塩梅がすごく難しいです。ビビると抜かれちゃいますし」普段からのイメトレは欠かせないという。

難しさに直面しながらも挑戦し続けられる理由は、仲間たちの存在。「レースは個人競技ですけど、先輩方はみんな人間力が高く、いろんなことを教えてくれます。全員で高めあっている競技なんです」。この先、自分のスタイルを確立していく竹尾選手のレースは始まったばかり。加速していく成長から目が離せない。

速くて強い背中を
追いかけて続ける。

1番後方からスタートする選手は1番速い選手。この日、速さの証、ピンク色の8号車を操っていたのは歴21年目となる岩見選手だ。

「元々父親が働いていて、就活しようというときに願書をもらった感じがですね、受けたら受かったんで」(笑)と、少し変わった動機を教えてくれた。

トップ選手として活躍している岩見選手の強さの理由は、周りの環境に挑み続ける心持ちにあった。「ちょっと上の先輩と同期がめちゃくちゃ強い黄金世代だったんですよ。だからそこから離れないように食らいついて、昔も今もずっと追いかけています」自らの伸びしろを信じ続け、結果がついてきたそう。「あとやっぱり強い人は熱量が違います。ひたすら手を動かして、いろんなことを試す人が強いんです」岩見選手は終始和やかな雰囲気であっけらかんが、その根底には熱い想いが燃え続けていた。

師弟関係が楽しく
オートレースの世界。

師弟制度がずっと残っているオートレースの世界。岩見選手は今まで自分がしてもらってきたことを、弟子に教える立場となった。「いろんな情報をライバル同士で教え合おうってなかなか顔を見ない業界だと思います。でもやっぱり、若い子がうまい走りをしてたらキーンとしますから(笑)」頼りになるベテランの余裕は、レースの熱量を上げていた。

PROFILE

竹尾 竜星
RYUSEI TAKEO

MACHINE

ウェルネス
モト

第38期生・佐賀県出身

2025年の1月にデビューした新人レーサー。最初は驚いたが、「筋肉は重たいから減らしたら？」と聞かれていた。岩見選手の弟子。

@ takeoryusei



PROFILE

岩見 貴史
TAKASHI IWAMI

MACHINE

ザンス
ザザンス

第29期生・福岡県出身

20歳でデビュー。レースは1番後ろのレーサーが作り出す駆け引きが魅力の一つと語る。マシンの名前は「岩見」・「イワミ」・「ザンス」から。

@ ganmicha



1レース1レース、いろんな展開があるから楽しいです!



ドリームさん

トピック
★☆☆★

6 予想屋さんに話を聞いてみる。

オートレース場内には、何やら出店のようなのが目立ちホラ……。しかも何か書かれた小さな紙と小銭をやり取りしている……。初心者からすると怪しげにも見えたこの方々は「予想屋さん」。もちろんレース場公認のいわば「予想のプロ」である。1レース百円でレースのアドバイスをくれる。

見ているのは数秒のレースだけじゃない。

25歳の頃から予想屋を始め、歴30年以上の「ドリーム」さん。1レース百円という決して楽ではない予想屋の世界で今もなお第一線を走り続けている。持ち味は、多様な角度からの鋭い予想。一口に予想といっても、そ

「アメリカ」は、ハマシヨーの曲からとったんだ



アメリカさん

変遷するレースを予想する面白さ。

それぞれの選手の癖、天候との相性など、数秒のレース内だけでは見えない要素が要になるのだとか。

「小さい頃から父に連れられて来ていて、レースを見るのが好きでした」そう語るの「アメリカ」さん。「昔は選手によってマシンが

違ったりしたから、今とはまた違う楽しみもありましたね」と、レースの今昔も教えてくれた。フランクな雰囲気のアメリカさん。取材中にもお客さんの足が途絶えることはなかった。

「予想屋」という独特の文化。1レース百円で聞くのもあり、1日を通して利用するのもあり。気軽に声をかけてみよう。



期待のチェックも仕事の内です

PROFILE
川口 裕司
YUJI KAWAGUCHI
第34期生・福岡県出身

トピック
★☆☆★

5 異世界?理想郷? ロッカルームへ潜入!



1区画6畳ほど。飯塚所属の選手は私物もレイアウトしており1室ごとに秘密基地が並んでいるようだった。

CUSTOMIZE!

仲良しな選手の記念Tシャツです

PROFILE
佐藤 裕児
YUJI SATO
第32期生・福岡県出身

よく見るとすごいインパクトのTシャツは、飯塚競選手が優勝記念で自作して配布したもの。

選手インタビュー時に特別に入らせていただいたロッカルーム(選手控室兼整備場)。通信機器などは持ち込み不可であることもあり、写真も貴重なエリアだが本取材時に最も感動し、一挙に「オートレースの大ファン」となった場所がここだった。各々の部屋でレース終了後も翌日に向けて意気込みにマシンと向き合いつつ、明るく明らかに話や挨拶を交わす選手たち。先輩後輩問わず、

異世界?理想郷? ロッカルームへ潜入!

編集部アフタートーク

「飯塚オートレース」取材を振り返って

ロッカールームに足を踏み入れると
全員オートレース好きになる説

馬 いや〜〜楽しかったね飯塚オート。

川 1日でわりともう大ファンになっちゃいました。

蟹 取材も兼ねて1レースだけ車券買いましたけど、初予想が惜しくて最終レースも車券買いたかったです。

馬 職員の前上さんが一番ハマるパターンだと仰ってたけど、めっちゃわかる。百円だけでも車券買おうと熱が入るよね。

川 私は全然かすりもしてなかったですが(笑)、初めて観て想像以上に迫力がすごくてかっこいいなと。

蟹 あとロッカールーム、半端なかったですね。

馬 ねーなんというか、映画とかの序盤のシーンで「憧れの場所にはじめて入るとき」みたいな、他にはない特有の空気があったよね。ダンジョン感もあったね。

川 オートレーサーのみなさんも爽やかでカッコよかったですね。レース中はヘルメットで全く顔とか見えない分、実際に会うと一気に心を掴まれました。

馬 インタビューに応えてもらった岩見さんと竹尾さんも超いい人だったし、挨拶を交わした選手のみなさんほんとアスリート感もあってね。

結論：オートレース場は飯塚の名所

馬 今回、鈴田特集で飯塚オートを10ページとりあげよう、となったのは編集部の競田出身スタッフが推していた「飯塚オートは、気量の数少ない、外から人を呼べる、エンタメ施設観を確信したかった部分もあって、はじめて来てみたけど、本当にその通りだと思ったな」。

川 ですね。私も種子島から飯塚に来て5年ほどで初オートレースでしたけど、これはマジで楽しい。

蟹 予想屋さんもナイスキャラでしたな。

馬 すごい気さくで話しやすいかった。そしてお二人と話しててそうかこれは遊びなんだなと思ったよ。若い頃からいままずっとならで遊べる遊び。

川 昔はもっと人がすごかったな話はよく聞きますけど、予想屋さんが「BIG EYES」に出たり、ネットで予想を見ることができたりするのも「今」な感じで。

馬 オンラインも盛り上がりつつあるみたいだけど、体験として本場開催のときにオートレース場に足を運んでみるのは心からおすすめしたい。メインスタンドも眺めがよくて、ポイントするだけでもあの空間にいたいなと。

川 1日で500円は意外と安いなと思いました。

馬 読書しながらオートレースを楽しむ…みたいな休日も最高。今回は紹介しきれないですけど、食堂のえびちゃんってあの居酒屋の「えびちゃん」ですよ？私、ほぼ毎週行ってるので、先月も編集部みんなで行ききましたもんね。

川 そうそう、メインスタンドが新しくなったのに合わせて俺たちの「えびちゃん」による食堂も新設されてるのよね。

蟹 花火撮影のときにホルモン丼食べましたけど、やっぱり美味しかったですよ。

川 いいな〜！これは今日も(居酒屋の方の)えびちゃんに行くことになりそうです。

取材したスタッフたち

蟹江 蟹

チクスキのほげ金での写真を撮っているフォトグラファー。



馬場 馬

本誌編集長。学生時代を競馬と競輪がある小倉で過ごす。



川野 川

種子島出身のデザイナー兼ライター。今号よりカムバック。



フタバ設計 presents GI第68回 ダイヤモンドレース

8月22日(金)~26日(火)

開門時刻 14:00

飯塚オート夏の風物詩GIダイヤモンドレースが8月22日から5日間行われます！特集に登場した選手も出場するかも！？チクスキを片手に飯塚オートへ集合だ！

